第84期
株主通信

2020年4月1日▶▶2021年3月31日

高める、つくる、そして、支える。

KUMAGAI 熊谷組

工事名：二級河川甲子川筋甲子川水門土木工事（岩手県）　発注者：岩手県

株主の皆様へ

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。

ここに第84期(2020年４月１日から2021年３月31日まで)の事業の概況についてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2021年６月

取締役社長　櫻野泰則

当期の業績

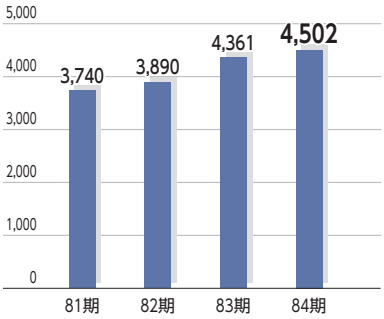
当連結会計年度における我が国経済は、昨年年明けから世界的に拡大を始めた新型コロナウイルス感染症に収束の動きが見られない中で、一部設備投資や生産、輸出に底上げの兆しがみられましたが、度重なる外出自粛要請等の影響から個人消費は低迷し、企業収益も個人消費関連の業種を中心に大幅に落ち込むこととなり、GDPはリーマンショック時以来のマイナス成長となりました。

建設業界におきましては、企業の建設投資は製造業を中心に手控えられましたが、住宅投資は弱含みながらも概ね横ばいとなり、公共投資は関連予算の執行により堅調に推移したため、総じて底堅い事業環境が継続しました。

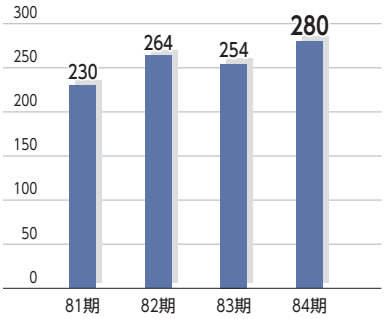
当社グループはこのような状況のもと、2018年3月に策定した①建設工事請負事業の維持･拡大、②新たな事業の創出、③他社との戦略的連携を戦略の柱とする『熊谷組グループ　中期経営計画(2018～2020年度)～成長への挑戦～』にグループ一丸となって

連結業績ハイライト

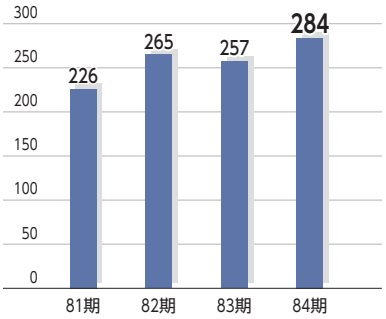
■売上高　(億円)



■営業利益　(億円)



■経常利益　(億円)



取り組み、さらなる成長へ挑戦してまいりました。

当連結会計年度における当社グループの連結業績につきましては、売上高は、手持工事を順調に消化し、前連結会計年度比3.2%増の4,502億円となりました。利益は、売上総利益の増加等により、営業利益は280億円、経常利益は284億円となりました。また、偶発損失引当金繰入額の特別損失への計上等により、親会社株主に帰属する当期純利益は179億円となりました。

対処すべき課題

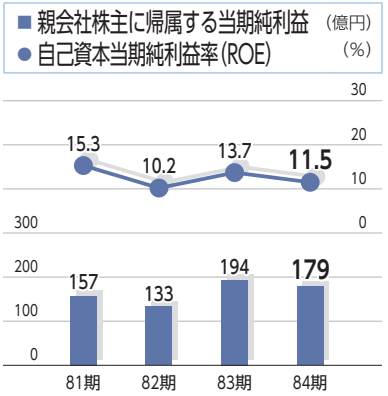
今後の我が国経済は、新型コロナウイルスの感染終息が見通せない中で、政府の各種政策やワクチンの普及等により個人消費や企業収益が徐々に回復に向かうことが期待されますが、国内外において渡航制限や経済活動制限等の規制が続いており、景気は依然として先行き不透明な状況にあります。

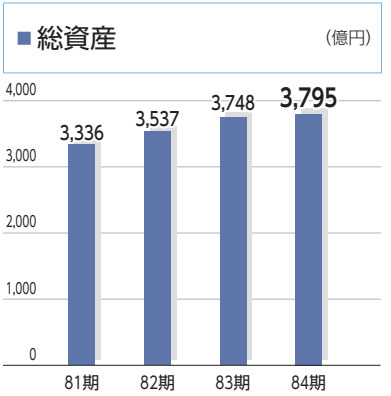
建設業界におきましては、民間企業の建設投資は経営環境の悪化により弱い動きとなることが予想されますが、公共投資は2021年度予算において前年度とほぼ同水準が確保され、とりわけ気候変動の影響により頻発する大規模自然災害や高度経済成長期に整備された社会インフラの老朽化に対する工事への集中投資が見込まれております。また、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたインフラ整備の動きは、今後の民間設備投資を一定程度下支えすると考えられます。なお、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合、対策コストの増大や資機材供給の停滞などのリスクに留意する必要があります。

中期経営計画

昨今、自然災害が激甚化・頻発化し、また、高度経済成長期に整備された社会インフラの老朽化が進行するなど、人々の暮らしや産業の発展を支える基盤に大きな影響を及ぼしています。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大は人々の価値観や行動様式を変化させるなど、まさに将来の不確実性が高まっています。

このような経営環境のもと、当社グループは時代の変遷とともに顕在化している社会課題と真摯に向き合い、社会から求められる建設サービス業の担い手として、「持続可能な社会」「快適に暮らせる社会」「経済が成長する社会」の形成を通して、“限りある資源が循環し、ひと・社会・自然が豊かであり続ける社会”の実現に貢献することが当社グループの担う役割であると認識し、本年5月に『熊谷組グループ　中期経営計画(2021～2023年度)～持続的成長への弛まぬ挑戦～』を策定しました。





熊谷組グループ　中期経営計画（2021～2023年度）

～持続的成長への弛まぬ挑戦～（要旨）

当社は、2021年度を初年度とする『中期経営計画（2021～2023年度）』を策定しました。本計画では2017年に定めた中長期経営方針の考え方を踏襲しつつ、新たに定めた長期構想“2030年以降を見据えた経営方針”のもと、今後3年間の方針・戦略・目標を掲げました。

長期構想

時代の変遷とともに顕在化している多種多様な社会課題と真摯に向き合い、社会から求められる建設サービス業の担い手として、限りある資源が循環し、ひと・社会・自然が豊かであり続ける社会の実現に貢献します。

中期経営計画の基本方針

長期構想を起点に課題認識し、盤石な経営基盤のもと、コア事業である建設請負事業を深化させ、成長領域と位置づける建設周辺事業を進化させるとともに、新たな事業領域の開拓にも挑戦し、貢献の幅を拡げます。

財務目標

連結売上高
【2023年度】
4,700億円

連結経常利益
【2023年度】
330億円

ROE
12%以上

配当性向
30%目途

非財務目標

ESG視点	主な評価指標	計画期間中の数値目標	SDGsへの貢献
環境 Environment	CO_2排出量削減率（スコープ1、2）	【2030年】2019年度比 ▲25%	7, 13, 14, 15
	混合廃棄物排出率	2.0%以下	
社会 Social	安全度数率	0.5以下	3, 4, 5, 8
	社員の時間外労働時間数	30時間以下	
ガバナンス Governance	重大な法令違反発生件数	0件	12, 16

投資計画

将来的に国内建設市場は縮小均衡に向かい、競争が一段と激化していくと想定されることから、競争力強化と収益源多様化による安定収益確保のために、400億円規模の投資を行います。

投資規模 400億円

建設請負事業の深化	建設周辺事業の進化	新たな事業領域の開拓	経営基盤の強化
インフラ大更新分野	再生可能エネルギー分野	社会課題の解決に貢献するための技術研究開発	デジタル化関連
中大規模木造建築分野	不動産開発分野	新たな事業機会を創出するための他社との連携	技術開発関連
	インフラ運営分野		人財開発関連

土木

横浜環状南線　釜利谷ジャンクション工事（神奈川県）

発注者：東日本高速道路株式会社

横浜市金沢区の横浜横須賀道路の本線と金沢支線が分岐する釜利谷ジャンクションにおいて、横浜環状南線の接続に向けた工事を施工しました。上下線2本のトンネル工事、25万㎥の切盛土工事、7基の橋台・橋脚の設置工事を中心に様々な工種の施工を行いました。

北陸新幹線、福井高柳高架橋他（福井県）

発注者：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

北陸新幹線金沢～敦賀間の延伸事業の一部として福井市高柳地区を中心とする市街地に、工事延長2,615mの高架橋などを施工しました。工事は広範囲に及び、中でもPC橋12橋の内、主要な交差点を跨ぐ4か所のPC箱桁は、本桁に手延べ桁を設置し片側から押し出して架設する「押出し架設工法」により夜間作業で架設されました。

日光千本木太陽光発電所建設工事（栃木県）

発注者：東光電気工事株式会社

栃木県日光市のゴルフ場跡地（88ha）に総発電量34.4MWの太陽光発電所を建設する事業です。当社は事業区域内の土木工事を中心に、電気設備工事を除く太陽光パネル工事、送電の系統連系に関わる自営線、連系変電所の土木工事を担当しました。

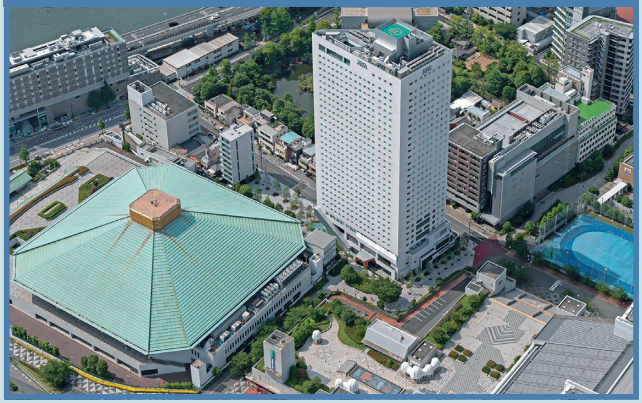
建 築

くまもと県北病院（熊本県）

発注者：地方独立行政法人くまもと県北病院機構

2021年3月に九州新幹線新玉名駅北側に開院した402床の総合病院です。熊本県北の地域中核病院として県下でも有数の規模を誇り、救急・災害拠点病院としての機能も備えます。エントランスの3層吹き抜け部分の「こもれび広場」は病院のシンボルとしてくつろぎを感じる空間となっています。

アパホテル&リゾート〈両国駅タワー〉（東京都）



発注者：アパ株式会社・アパホーム株式会社

全国にネットワークを展開するアパホテルの都内最大級となる地上31階建、全1,111室の超高層タワー型ホテルです。伝統文化を今に伝える両国国技館の隣に位置し、上層階からは隅田川越しに近代的な東京の夜景が望めます。館内には大浴場、フィットネス、レストラン等の充実した施設を備え、アーバンリゾートとして滞在そのものを楽しむことができます。

幕張ベイパークスカイグランドタワー（千葉県）

発注者：
三井不動産レジデンシャル株式会社
野村不動産株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
伊藤忠都市開発株式会社
東方地所株式会社
株式会社富士見地所
袖ヶ浦興業株式会社

JR海浜幕張駅周辺では、広大な公園をコアに首都圏最大級となる17.5haのまちづくり計画が進んでいます。本物件は1街区目の幕張ベイパーククロスタワー&レジデンスに続く、2街区目の竣工物件となり、地上48階、全826戸の免震タワーマンションに加え、クリニック及び体育館を有する低層棟2棟と自走式駐車場を配置しています。

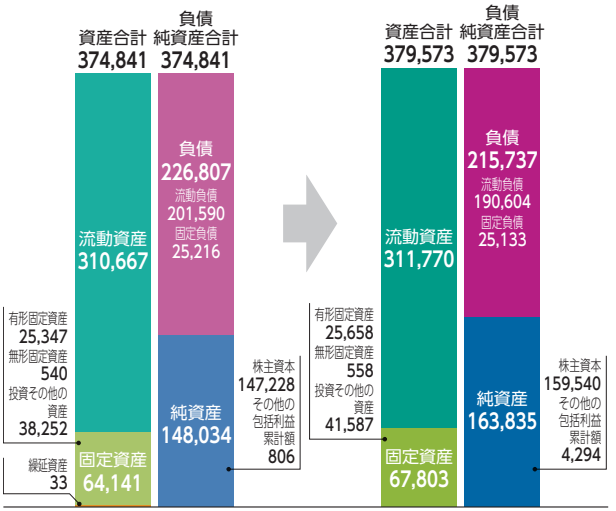
むつマエダアリーナ（青森県）

発注者：むつ市

スポーツを通じた交流拠点として2020年9月に開業した総合アリーナです。青森県で食品スーパーを展開するマエダの名を冠し、プロスポーツの開催も可能なメインアリーナには1,058席、サブアリーナに60席の観客席を有しています。また県内初の公設ボルダリング室なども備え、むつ市民の健康と子ども達の未来を育む施設となっています。

連結財務情報（要約）

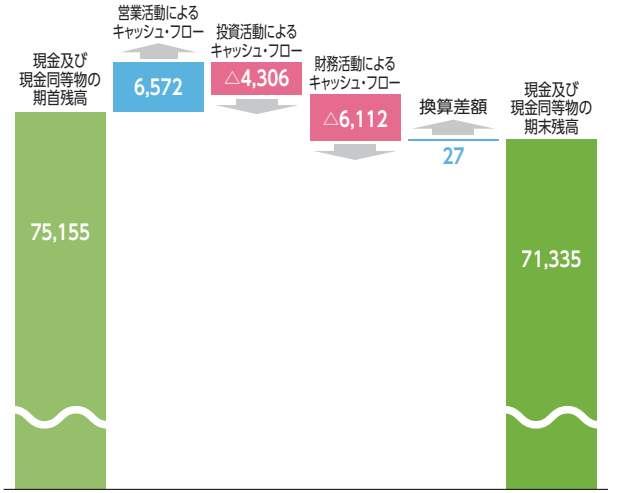
■連結貸借対照表の状況 （百万円）



第83期
（2020年3月31日現在）

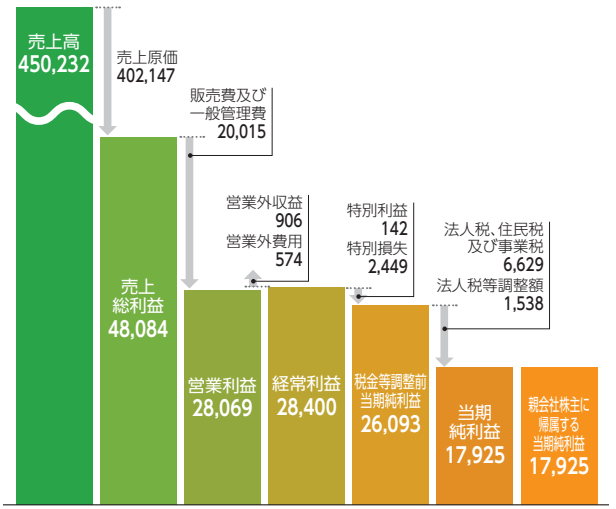
第84期
（2021年3月31日現在）

■連結キャッシュ・フロー計算書の状況 （百万円）



第84期
（2020年4月1日～2021年3月31日）

■連結損益計算書の状況 （百万円）



第84期
（2020年4月1日～2021年3月31日）

ポイント

■連結貸借対照表

総資産は3,795億円と前期末に比べて47億円増加しました。これは、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加等によるものです。また純資産は親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により、前期末に比べて158億円増加の1,638億円となりました。自己資本比率は前期末に比べて3.7ポイント向上し43.2%となりました。

■連結損益計算書

売上高は前期に比べて140億円増加の4,502億円となり、売上総利益の増加等により経常利益は284億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は偶発損失引当金繰入額の特別損失への計上等により179億円となりました。

■連結キャッシュ・フロー計算書

税金等調整前当期純利益の計上等により、営業活動は65億円の資金増加となりました。投資活動では設備の取得更新及び関係会社株式の取得等により43億円の資金減少となりました。財務活動では配当金の支払等により61億円の資金減少となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて38億円減少の713億円となりました。

単体の業績について

受注高は、前期比12.8％減の2,833億円となりました。このうち、土木工事は1,001億円、建築工事は1,832億円であり、これらの発注者別内訳は官庁20.9％、民間79.1％であります。

売上高は、同2.3％増の3,602億円となりました。このうち、土木工事は1,214億円、建築工事は2,387億円であり、これらの発注者別内訳は官庁25.0％、民間75.0％であります。

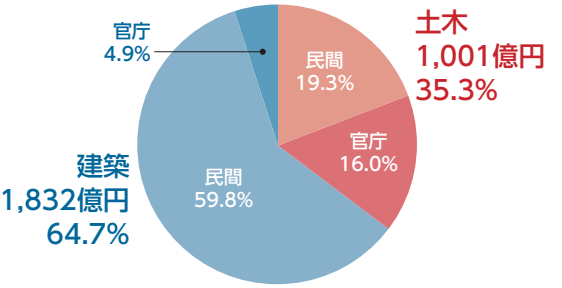
この結果、翌事業年度への繰越高は、同14.2％減の4,662億円となりました。

利益につきましては、経常利益は235億円、当期純利益は150億円となりました。

■損益等の状況

区　分	84期	前期比
受注高	2,833億円	(12.8%減)
売上高	3,602億円	(2.3%増)
繰越高	4,662億円	(14.2%減)
当期純利益	150億円	(1.5%増)

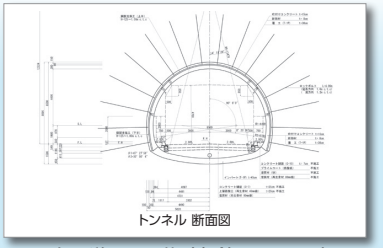
■受注高構成



主な受注工事

土木

- 一般国道452号 芦別市 鏡トンネル工事：国土交通省
- 栃本発電所導水路新設工事・栃本発電所導水路新設関連除去工事：東京発電株式会社
- 東海環状自動車道大須ヶ洞第三橋他1橋（下部工）工事：中日本高速道路株式会社
- 多奈川第二発電所 発電設備他除却工事およびこれに伴う廃材引取：関西電力株式会社



一般国道452号 芦別市 鏡トンネル工事

建築

- (仮称)幕張新都心若葉住宅地区計画(B-3 街区)：三井不動産レジデンシャル株式会社・野村不動産株式会社・三菱地所レジデンス株式会社・伊藤忠都市開発株式会社・東方地所株式会社・株式会社富士見地所・袖ヶ浦興業株式会社
- 日本電産株式会社 向日町プロジェクトC棟建築工事(仮称)：日本電産株式会社
- (仮称)羽沢横浜国大駅前A地区 開発計画：日鉄興和不動産株式会社・三菱地所レジデンス株式会社
- 加古川平岡町NKビル新築工事：JR西日本不動産開発株式会社

加古川平岡町NKビル新築工事

TOPICS | トピックス |

中大規模木造建築ブランド「with TREE」で木造化・木質化を推進

当社と住友林業株式会社（以下住友林業）は、中大規模木造建築ブランド「with TREE」を立ち上げました。

ブランドのコンセプトは「環境と健康をともにかなえる建築」です。都市の建築に「木」が生む新しい価値を提供し、中大規模建築の木造化・木質化を推進します。

当社と住友林業は、2017年の業務・資本提携以来、8つの分科会を立ち上げ、協業に向けて取り組んできました。そのうち、中大規模木造建築分科会の取り組みとして「with TREE」ブランドを立ち上げ、資材の調達から建築、コンサルティングまで環境と健康を両立させる「建築」を提案します。

また本プロジェクトの一環として、野村不動産株式会社のオフィスブランド「H¹O（エイチワンオー）」シリーズにおいて、主要構造部に木造ハイブリッド構造を採用した「H¹O外苑前」を手掛けます。

今後も両社の知見を掛け合わせ、上記プロジェクトをはじめ、教育・医療福祉施設・住居などに「木」という素晴らしい恵を活かせるよう推進してまいります。

熊谷組 × 住友林業 × ［　　］ = with TREE

令和2年度「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選定されました

当社は、経済産業省より令和2年度「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれました。

新・ダイバーシティ経営企業100選は、経済産業省がダイバーシティ経営に取り組む企業のすそ野拡大を目指し、経営成果に結びつけている企業の先進的な取り組みを選定し、表彰しているものです。

今年度は、全14社が選定されましたが、当社は経営トップをリーダーとした全社的なダイバーシティ推進体制を構築したことや、働き方改革による生産性の向上、長時間労働の是正を実現したことなどが評価され、建設業で唯一選定されました。

今後も、ダイバーシティ経営を推進し、全ての社員がいきいきと活躍できる企業を目指してまいります。

DIVERSITY MANAGEMENT SELECTION 100 2021

会社の概要

（2021年3月31日現在）

創　業	1898年1月
設　立	1938年1月
資本金	301億851万615円
従業員数	2,620名

主要な営業所

本　店
福井市大手3丁目2番1号
〒910-0005　TEL (0776) 21-2700

東京本社
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557　TEL (03) 3260-2111

北海道支店
札幌市中央区南1条西6丁目11番地
〒060-0061　TEL (011) 261-7271

東北支店
仙台市青葉区上杉5丁目3番36号
〒980-0011　TEL (022) 262-2811

首都圏支店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557　TEL (03) 3260-4750

名古屋支店
名古屋市中区栄4丁目3番26号
〒460-8402　TEL (052) 238-3011

北陸支店
金沢市広岡2丁目13番5号
〒920-8721　TEL (076) 208-3230

関西支店
大阪市西区靱本町1丁目11番7号
〒550-0004　TEL (06) 6225-2226

中四国支店
広島市中区大手町4丁目6番16号
〒730-0051　TEL (082) 241-3222

四国支店
高松市木太町3027番地1
〒760-0080　TEL (087) 862-2011

九州支店
福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号
〒810-0004　TEL (092) 721-0011

技術研究所
つくば市鬼ヶ窪1043番地
〒300-2651　TEL (029) 847-7501

海外拠点
中国(香港)、台湾、ベトナム、スリランカ、ミャンマー

役員の状況

（2021年6月29日現在）

取締役及び監査役

取締役社長(代表取締役)	櫻野泰則	取締役	岡田　茂
取締役(代表取締役)	嘉藤好彦	取締役	桜木君枝
取締役(代表取締役)	小川嘉明	常勤監査役	小西純治
取締役	日髙功二	監査役	鮎川眞昭
取締役	上田　真	監査役	佐藤　建
取締役	岡市光司	監査役	竹花　豊
取締役	吉田　栄		

(注) 取締役吉田栄、岡田茂及び桜木君枝の各氏は社外取締役、監査役鮎川眞昭及び竹花豊の両氏は社外監査役であります。

グループ会社

株式会社ガイアート	東京都新宿区新小川町8番27号 〒162-0814　TEL(03)5261-9211
ケーアンドイー株式会社	東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557　TEL(03)3266-0573
華熊営造股份有限公司	台湾台北市敦化南路一段205号 TEL +886-2-2721-0427
テクノス株式会社	愛知県豊川市穂ノ原2丁目1番地 〒442-0061　TEL(0533)84-1111
株式会社ファテック	東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557　TEL(03)3235-6269
テクノスペース・クリエイツ株式会社	東京都豊島区東池袋3丁目12番12号 〒170-0013　TEL(03)5960-1070
株式会社テクニカルサポート	東京都新宿区津久戸町2番1号 〒162-8557　TEL(03)3235-8131

●ホームページのご案内

https://www.kumagaigumi.co.jp/

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業内容やIR情報などを適時、掲載しています。

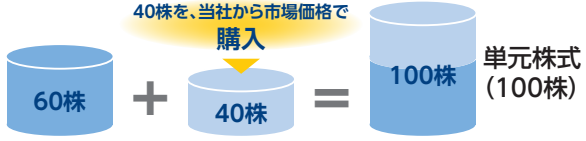
トップページ

投資家情報

単元未満株式の買増請求制度のご案内

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例)60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



各種お手続きのお申し出先

①証券会社口座にある株式 ➡ お取引先の証券会社
②特別口座にある株式 ➡ 三井住友信託銀行
(下記までお問い合わせください。)

三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
0120-782-031
https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

配当金のお支払期限について

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から３年となっております。
支払開始日から３年以上経過した配当金については除斥期間を経過したものとして、ご請求いただいてもお支払することができません。配当金はお支払開始後お早目にお受け取りください。

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から 翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年３月31日 剰余金の配当　毎年３月31日 そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	1861

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵送先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目８番４号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先	0120-782-031
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 <https://www.kumagaigumi.co.jp/> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

表紙写真　**工事名:二級河川甲子川筋甲子川水門土木工事(岩手県)　発注者:岩手県**

東日本大震災による岩手県釜石市の釜石港津波防護事業の一環として、釜石市を流れる甲子川の河口部に津波から市街地を守る海岸防潮堤となる甲子川水門を建設しました。発災から10年の節目を迎えた2021年3月11日に、完成した甲子川水門で追悼セレモニーが行われました。

KUMAGAI 熊谷組
〒162-8557　東京都新宿区津久戸町2番1号
TEL(03)3260-2111
https://www.kumagaigumi.co.jp/

UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。